

平成14年度京都市交通事業決算概要

第1 自動車運送事業

経常損益	49億61百万円
当年度純損益	46億60百万円
利益剰余金 (累積欠損金)	162億86百万円
資金剰余額 (不良債務)	143億26百万円

1 業務量(1日平均)

区 分		13年度 (A)	14年度 (B)	差 引 (B) - (A)
年度末在籍車両数(両)		759	755	4
使用車両数(両)		645	650	5
走行キロ数(千km)		77.3	77.2	0.1
旅客数	一般路線			
	一般旅客(千人)	236	228	8
	敬老等(千人)	90	92	2
	計(千人)	326	320	6
定期観光(人)		116	98	18
期末在籍人員(人)		1,210	1,037	173

2 主要事項

- 平成14年 4月 1日 「京都市交通事業経営健全化プログラム21」の実施(平成12年度～)
(全職員の給料等の5%以上減額, 基準乗務時分の15分引き上げ等)
- 平成14年 5月 1日 ポケロケにおける市バス接近メール通知サービスの実施
- 平成14年 5月 3日 「おもてなしキャンペーン 都大路作戦」の実施(～5月5日)
- 平成14年 6月24日 京都市交通事業審議会へ諮問

 規制緩和実施下における市バス事業経営のあり方について
 平成15年4月22日 提言
- 平成14年 8月27日 「京都市交通事業ルネッサンスプラン」(案)を労働組合に提案
(「管理の受委託」の拡大, 総人件費の削減等)
- 平成14年 9月26日 市バス交通調査の実施(～10月10日)
- 平成14年 9月28日 「市バス・地下鉄お客様感謝デー」の開催
- 平成14年10月15日 京都コンベンションバスの新設
- 平成14年11月23日 「おもてなしキャンペーン 都大路作戦」の実施(～11月24日)
- 平成14年12月12日 「京都市交通事業ルネッサンスプラン」を労働組合と大綱妥結
- 平成15年 1月23日 五条営業所の廃止(1月24日梅津営業所に統合)
- 平成15年 3月16日 市バス新運転計画(洛西地域等の系統見直し, 南部3系統の管理の受委託等)の実施

 大型ノンステップバス(27両), 中型ノンステップバス(4両),
 CNGノンステップバス(3両)の導入
- 平成15年 3月18日 市バス車両への「ディーゼル排気微粒子除去装置(DPF)」(8基)の装着

3 財政収支

年 度 項 目		前年度決算比較(消費税抜額)		
		13年度決算	14年度決算	増 △ 減
		億 百万円	億 百万円	億 百万円
経 常	営 業 収 益	204 57	198 00	△ 6 57
	運 送 収 益	190 50	185 08	△ 5 42
	そ の 他	14 07	12 92	△ 1 15
	営 業 外 収 益	17 22	16 61	△ 61
	収 入 計	221 79	214 61	△ 7 18
損 益	営 業 費 用	256 45	259 83	3 38
	人 件 費	181 87	186 20	4 33
	経 費	60 71	60 44	△ 27
	減 価 償 却 費 等	13 87	13 19	△ 68
	営 業 外 費 用	3 92	4 39	47
	支 出 計	260 37	264 22	3 85
	差 引	△ 38 58	△ 49 61	△ 11 03
	特 別 損 益	9 89	3 01	△ 6 88
	再 差 引 (純 損 益)	△ 28 69	△ 46 60	△ 17 91
	利 益 剰 余 金 (△ 累 積 欠 損 金)	△ 116 26	△ 162 86	△ 46 60
資 本 的 収 支	収 入	11 51	20 57	9 06
	支 出	24 71	33 93	9 22
	差 引	△ 13 20	△ 13 36	△ 16
	資 金 剰 余 額 (△ 不 良 債 務)	△ 96 49	△ 143 26	△ 46 77

4 企業債の状況

年 度 項 目	13年度末 未償還残高	年 度 内 増 減			14年度末 未償還残高
		発 行 額	償 還 額	差 引	
		億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円
建 設 企 業 債	100 77	18 62	13 85	4 77	105 54

第2 高速鉄道事業

経常損益	△255億16百万円
当年度純△損益	△255億78百万円
利益剰余金 (△累積欠損金)	△2,213億97百万円
資金剰余額 (△不良債務)	△220億92百万円

1 業務量(1日平均)

区 分		13年度 (A)	14年度 (B)	差 引 (B)－(A)
年度末営業キロ(km)		26.4	26.4	0
年度末在籍車両数(両)		204(34編成)	204(34編成)	0
運 転 回 数(回)	烏丸線	162(土休140)	162(土休140)	0
	東西線	133※(土休121)	133※(土休121)	0
走行キロ数(km)		47,384	47,376	△8
旅 客 数	一般旅客(千人)	274	271	△3
	敬老等(千人)	37	38	1
	計(千人)	311	309	△2
期末在籍人員(人)	営業部門	588	573	△15
	建設部門	53	56	3
	合計	641	629	△12

注 ※御陵～京都市役所前については、この他に京津線からの直通列車が83回(土休75回)ある。

2 主要事項

- 平成14年 4月 1日 「京都市交通事業経営健全化プログラム21」の実施(平成12年度～)
(全職員の給料等の5%以上減額, 基準乗務時分の15分引き上げ等)
- 平成14年 5月 3日 「おもてなしキャンペーン 都大路作戦」の実施(～5月5日)
- 平成14年 7月15日 地下鉄東西線二条～天神川間延伸の工事施行認可及び道路下敷設許可取得
- 平成14年 8月27日 「京都市交通事業ルネッサンスプラン」(案)を労働組合に提案
(総人件費の削減, 東西線線路使用料の見直し等)
- 平成14年 9月28日 「市バス・地下鉄お客様感謝デー」と東西線開業5周年記念事業の開催
〔記念カード発売とスタンプラリーの開催(10月12日～12月10日)〕
〔「鉄道の日」記念 地下鉄醍醐車庫見学会の実施(10月13日)〕
- 平成14年10月15日 京都コンベンションパスの新設
- 平成14年11月23日 「おもてなしキャンペーン 都大路作戦」の実施(～11月24日)
- 平成14年12月12日 「京都市交通事業ルネッサンスプラン」を労働組合と大綱妥結
地下鉄東西線二条～天神川間延伸の起工式典を開催
- 平成15年 2月24日 京都市高速鉄道防火安全対策委員会の設置(交通局・消防局)
地下鉄国際会館駅における車両火災特別消防訓練の実施(3月7日)
- 平成15年 3月10日 車両間転落防止装置の設置, 非常停車通報ボタン増設やエレベータ音声案内装置
及び副操作盤の設置など安全対策やバリアフリー化の実施

3 財政収支

年 度 項 目		前年度決算比較(消費税抜額)		
		13年度決算	14年度決算	増 △ 減
		億 百万円	億 百万円	億 百万円
経 常 損 益	営 業 収 益	203 52	200 74	△ 2 78
	運 輸 収 益	190 62	189 71	△ 91
	そ の 他	12 90	11 03	△ 1 87
	営 業 外 収 益	5 82	4 78	△ 1 04
	収 入 計	209 34	205 52	△ 3 82
	営 業 費 用	332 77	320 30	△ 12 47
	人 件 費	67 31	66 74	△ 57
	経 費	131 12	131 96	84
	減 価 償 却 費 等	134 34	121 60	△ 12 74
	営 業 外 費 用	145 02	140 38	△ 4 64
支 出 計	477 79	460 68	△ 17 11	
差 引		△ 268 45	△ 255 16	13 29
特 別 損 益		△ 10 05	△ 62	9 43
再 差 引 (純 損 益)		△ 278 50	△ 255 78	22 72
利 益 剰 余 金 (△ 累 積 欠 損 金)		△ 1,958 19	△ 2,213 97	△ 255 78
資 本 的 収 支	収 入	319 62	355 62	36 00
	支 出	240 89	365 56	124 67
	差 引	78 73	△ 9 94	△ 88 67
資 金 剰 余 額 [△ 292 57]		[△ 336 72]		
(△ 不 良 債 務)		△ 213 57	△ 220 92	△ 7 35

(注) []内は、資本費負担緩和分企業債を発行する前の不良債務である。

4 企業債の状況

年 度 項 目	13年度末 未償還残高 億 百万円	年 度 内 増 △ 減			14年度末 未償還残高 億 百万円
		発 行 額 億 百万円	償 還 額 億 百万円	差 引 億 百万円	
建 設 企 業 債	3,194 64	[20 95] 141 15	[△20 95] 141 09	6	3,194 70
特 例 債	145 46	14 49	27 33	△ 12 84	132 62
資 本 費 負 担 緩 和 分 企 業 債	250 09	115 80	0	115 80	365 89
合 計	3,590 19	271 44	168 42	103 02	3,693 21

(注) 発行額及び償還額の上段[]内は、建設企業債借換分で内数である。